

2025 年 5 月 30 日

報道関係各位

株式会社東京ドーム

～東京ドームシティをエンタメテックの聖地に～

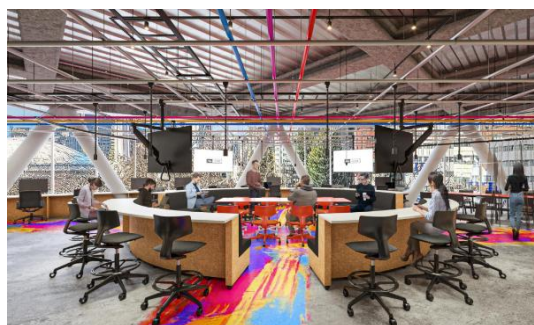
Web3・XR・AI に特化した会員制コワーキングスペース

「enXross DAO(エンクロス・ダオ)」が東京ドームシティに誕生！

利用者主導の DAO(分散型自律組織)型の運営とグローバルなネットワーキングの創出を目指します。

株式会社東京ドーム(所在地:東京都文京区、代表取締役社長 COO:長岡 勤)は、“東京ドームシティをエンタメテックの聖地にする”というenXrossの活動を強化することを目的として、2025年11月、東京ドームシティ内の商業施設 MEETS PORT(ミーツポート)の4階に、会員制コワーキングスペース「enXross DAO(エンクロス・ダオ)」を開設します。

Web3・XR・AIといった最新テクノロジーと、エンターテインメントを掛け合わせた事業の開発を行う国内外スタートアップや、東京ドームシティのアセットと親和性のあるクリエイター・エンジニア・デバイス開発者などを主な利用対象者とし、単なる作業スペースに留まらず、オフィスの運営方針やコミュニティ形成、リソース共有などの提案や意思決定に利用者自身が参加できるDAO(分散型自律組織)型の運用を目指します。



本スペースの利用者には、窓から東京ドームが一望できるリアルなエンターテインメントの息吹を感じる刺激적인環境と、東京ドームシティを実証実験のフィールドとして活用いただく機会の提供を予定しています。さらに、対面コワーキングを通じてWeb3スタートアップを支援、育成してきたEmpireDAOの創設者であるマイク・フライエタ氏と連携し、利用者に最先端のWeb3プログラムと専門知識を提供します。その他にも、エンタメ関連企業・Web3開発者・アカデミア・行政などの多様なステークホルダーが参加する交流イベントや、共同プロジェクトを定期的に行い、グローバルなネットワーキングの場と、エンターテインメントを通じた新たな感動体験の創出に取り組んでまいります。



■enXross パートナーコメント

EmpireDAO 創設者 Mike Fraietta (マイク・フライエタ) 氏

私たちは、クリエイターがコミュニティを所有し、目的を持って構築する自由を持つとき、イノベーションの未来が生まれると信じています。「enXross DAO」は、未来のエンターテインメントを生み出す舞台となる東京ドームシティで、ファウンダーたちが現実世界のアプリケーションを構築できるように設計された、大胆な分散型コラボレーションの実験です。クリエイターが実際の来場者と共にアイデアを試し、進化させることができるとき、可能性は無限に広がります。私たちは、ファウンダーの力を最大限に引き出し、東京ドームシティがエンターテインメントテックのグローバルな拠点となるというビジョンを支援するために、EmpireDAOの支援ノウハウを提供できることを誇りに思います。



■enXross 事務局代表 コメント

株式会社東京ドーム 新規事業室 課長 赤木 翔



「東京ドームシティを“エンタメテックの聖地”にする」これは、enXrossプロジェクトが掲げてきたビジョンであり、私たちが本気で目指している未来です。今回、Web3・XR・AIに特化したコワーキングスペース「enXross DAO」を開設することで、そのビジョンに向けた次なる一歩を踏み出します。本スペースは“DAO的運営”という挑戦的な設計思想に基づき、利用者自身がオフィスの在り方を共に作り上げていく、新たな試みです。

そして、このDAO構想をともに実現するパートナーとして、EmpireDAOという世界を舞台に活動するWeb3プロフェッショナルチームと手を組めたことは、私たちにとって非常に大きな意味を持ちます。彼らのノウハウとコミュニティ力を最大限に活かし、ここ東京ドームシティで“リアル×テクノロジー”が融合したスタートアップ・エコシステムをつくっていきたいと思います。

■施設概要

名称:「enXross DAO」

開業日:2025 年 11 月(予定)

場所:東京都文京区後楽 1-3-61 東京ドームシティ内 MEETS PORT 4F

面積:53.91 坪

席数:最大約 40 席(予定)

利用料:原則無料

※原則フリーアドレス制。開催プログラムやプロジェクトの状況に応じて、参加者に優先的に座席の割り当てを行う場合あり。

※OA 機器利用料などのインフラ整備を目的とした運営経費を年次ないし月次で設定する場合あり。

■利用条件

下記①～③のいずれかの条件に該当する企業、団体、個人

①スタートアップ企業

- ・スポーツやエンターテインメントなどの東京ドームシティのアセットと関連する事業領域
- ・Web3・XR・AI および周辺テクノロジーを活用した先端領域(Volumetric・デジタルツインなど)

上記 2 点を掛け合わせて事業を行っている、もしくは行う予定の企業、チーム

②団体・個人

東京ドームシティのアセットと親和性のあるコンテンツクリエイター・エンジニア・デバイス開発者など

③パートナー企業・団体

スタートアップとの協業により、事業開発やオープンイノベーションを推進する企業・団体

※団体のメンバー数に制限はありませんが、利用できる席数は最大 3 席です。

※国籍は問いませんが、日本語もしくは英語でコミュニケーションがとれることが必須条件です。

■申込み方法

一般の会員募集に先立ち、本スペースの利用権を、2025年9月29日(月)に東京ドームシティにて開催するオープンイノベーションイベント「enXross 3rd」内で開催される「enXross AWARD 2025」の参加者から選考し、贈呈する予定です。一般の会員募集開始は、2025年10月以降を予定しています。入居の選考や審査方法等を含めた詳細情報は決定次第、公式サイトよりお知らせします。

「enXross AWARD 2025」選考プロセス:

2025 年 5 月 30 日(金)～7 月 28 日(月)	応募期間
2025 年 8 月 8 日(金)	一次選考(書類審査)結果通知
2025 年 8 月 8 日(金)～8 月 21 日(木)	二次選考用プレゼンテーション動画受付
2025 年 8 月 8 日(金)～9 月 1 日(月)	面談(コワーキングスペース利用希望者のみ)
2025 年 9 月 8 日(月)	二次選考(動画プレゼン審査)結果通知
2025 年 9 月 29 日(月)	「enXross AWARD 2025」での最終選考

プレエントリーフォーム:<https://x.gd/jxuA8>

※上記スケジュールは、主に「日本国内からの応募者」が対象です。海外からの応募者は、異なるスケジュールで審査を行う場合があります。詳細は公式サイトにてご確認ください。

「enXross AWARD 2025」開催概要

enXrossプロジェクトは、エンターテインメントの未来を切り拓く最新テクノロジーを用いたプロジェクトの創出や、参加者の起業家精神の支援・育成を行うことを目的した取り組みです。2023 年 12 月、2024 年 7 月の 2 回にわたり、オープンイノベーションイベントを開催し、東京ドームシティの魅力を国外へ広く発信するとともに、世界のWeb3、XR技術の最前線を体感できる機会を提供してまいりました。2025 年 9 月には、3 回目となる「enXross 3rd」の開催を予定しています。本イベントのメインコンテンツである「enXross AWARD 2025」では、“テクノロジー×エンターテインメント”がテーマのビジネスアイデアを募集し、コンテストの入賞者には、賞金や「enXross DAO」の利用権が付与されます。

公式サイト:<https://www.tokyo-dome.co.jp/enxross/>

開催日:2025 年 9 月 29 日(月)

会場:シアターG ロッソ(東京都文京区後楽 1-3-61 東京ドームシティ ジオポリス内)

内容:“テクノロジー×エンターテインメント”のビジネスアイデアコンテスト

テーマ:AI・Web3・XRの先端 Tech 3 分野を中心とした技術・サービス・製品

対象者:上記 3 分野に関わるスタートアップ企業・起業予定者・個人

賞金:最優秀賞 300 万円/合計 350 万円(予定)

副賞:会員制コワーキングスペース「enXross DAO」の利用権(1 年間)

※コワーキングスペース利用は任意。

※利用期間は双方協議の上、利用期間延長の場合あり。

※本リリースの内容は、状況により変更または中止をする場合があります。

— お客様からのお問い合わせ先 —

enXross DAO/ enXross 3rd 事務局

フォーム:<https://x.gd/Az8G7>

■「enXross DAO」をサポートいただいた皆様からのメッセージ

株式会社フィナンシェ 代表取締役 CEO 國光 宏尚 氏



Web3×エンタメの拠点が東京ドームシティに誕生することに心からワクワクしています。フィナンシェでも共創型の新プロジェクトを東京ドームさんと進めており、日本発のWeb3カルチャーがリアルとデジタルを横断しながら世界に広がっていく未来に、大きな期待を寄せています！

Anifie Inc. CEO 岩崎 洋平 氏



日本は、世界の中でも、ブロックチェーンを利用した地域通貨に国から補助金が出たり、ステーブルコインが法制化されており、合同会社型DAOの枠組みがあるなど、特殊な政策を取り、イノベーターにとって大きな事業機会があると考えています。「enXross DAO」のオープンイノベーションの枠組みの中で、世界中のイノベーターがコラボし合い、新しいビジネスモデルが次々と生まれ、世界に羽ばたいていくことを期待しております。

Nonagon Capital ファウンディングパートナー 岡本 和士 氏



東京ドームシティの中心で「アイデア段階の構想が形になる」。それはまさに、シリコンバレーの“ナプキン文化”を思い起こさせます。「enXross DAO」は、テクノロジーとエンタメを横断する実験場として、日本発のWeb3イノベーションを生み出す土壌になります。Nonagon Capitalとして、シリコンバレーと東京ドームシティをつなぐ架け橋の一員になれることに、心からワクワクしています。

Fracton Ventures Co-Founder 亀井 聡彦 氏



DAOは本来、場所に縛られない存在ですが、「enXross DAO」はあえて都市の中心に根を張ります。この試みは、Web3/Cryptoが「コード」から「空間」へと拡張する転機であり、DAO的思想が都市設計に入り込む、社会構造の転換点だと捉えています。エンタメの象徴的な場所である東京ドームさんの、長期的な視点と覚悟に敬意を表しつつ、Fractonとしてもこの文脈を共に耕し、「enXross DAO」の今後の発展を心から応援しています。